



## 記者発表資料

(県 政)



提供年月日：令和5年(2023年)2月7日  
部 局 名：文化スポーツ部  
所 属 名：文化芸術振興課  
係 名：美の魅力発信推進室  
担 当 者 名：辻、山本  
連絡先(内線)：077-543-2111

## 「アートと障害を考えるネットワークフォーラム 2023」を開催します！

文化と福祉の交わるところで、いま、なにが起きているのでしょうか？

近年、ますます多様化が進むアートと障害に関わる、それぞれの取組の現在地を確認し、今後の展望を考えていくためのディスカッションを行います。

ライブ開催と同時にオンライン配信も行います。ぜひご参加ください！

### イベント情報

- 日時  
令和5年(2023年)2月23日(木・祝) 13:00-16:45(開場 12:45)
- 会場  
滋賀県立美術館 木のホール(滋賀県大津市瀬田南大萱町 1740-1)  
[ライブ開催](#) [オンライン配信](#) [後日アーカイブ配信](#)  
※ 手話通訳あり、ヒアリンググループあり
- 参加費  
入場無料(要予約・定員70名・申込先着)
- 申込方法  
ホームページ、FAX ※詳細は、別添チラシをご覧ください。

### 内容

- [セッション1](#) 「つくる」ことに寄り添う  
登壇者：今泉 岳大(岡崎市美術博物館 学芸員)  
高橋 梨佳(特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)  
水上 明彦(社会福祉法人さふらん生活園 施設長)
- [セッション2](#) 「みる」ことを考え直す  
登壇者：広瀬浩二郎(国立民族学博物館 准教授)  
山田 創(滋賀県立美術館 学芸員)

- セッション3 「ささえる」ために何ができる？

登壇者：奥山 理子（Social Work/Art Conference ディレクター）  
原田 啓之（障害福祉サービス事務所P I C F A施設長）  
森 真理子（厚生労働省 障害者文化芸術計画推進官）

- ディスカッション 登壇者全員によるディスカッション

進 行：保坂健二郎（滋賀県立美術館ディレクター）

## 主催・問い合わせ先

---

滋賀県文化芸術振興課美の魅力発信推進室（滋賀県立美術館内）

T E L : 077-543-2111

F A X : 077-543-2170

E - M A I L : sc0003@pref.shiga.lg.jp

## アートと障害を考えるネットワークについて

---

「アートと障害を考えるネットワーク」では、障害のある人による美術表現を軸に、多様な表現や鑑賞のあり方の可能性を考え、ひいては共生社会の実現にも資する情報提供を行っています。

# アートと障害を考える

# ネットワーキングフォーラム

# 2023

—文化と福祉の交わるところで、いま、なにが起きているのでしょうか？

| 日時 |  
令和5年 **2月23日** 木・祝

13:00-16:45 (開場 12:45)

| 会場 |  
**滋賀県立美術館 木のホール**  
(滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1)

| 参加費 |  
入場無料 (要予約・定員70名・申込先着)

ライブ開催 オンライン配信\* 後日アーカイブ配信\*

\*全てに手話通訳あり  
\*ヒアリンググループあり



手話通訳



ヒアリンググループ

※YouTubeにて配信

オンライン配信は  
こちら →



## お申し込み方法

1 ホームページでのお申込み

申込はこちら →



2 FAXでのお申込み

氏名・電話番号・FAX番号・

「アートと障害を考えるネットワーキングフォーラム参加希望」

と記載の上、問い合わせ先までお送り下さい。

「つくる」、「みる」、「ささえる」という3つのテーマで、キュレーターや福祉施設の関係者、研究者などを迎え、事例発表と意見交換を行います。

近年、ますます多様化の道を辿るアートと障害に関わる、それぞれの取り組みの現在地を確認し、今後の展望を考えていくためのディスカッションです。

| 主催・問い合わせ先 |

滋賀県文化芸術振興課 美の魅力発信推進室 (滋賀県立美術館内)

TEL.077-543-2111 FAX.077-543-2170 E-MAIL sc0003@pref.shiga.lg.jp

13:00-13:50

セッション1

「つくる」ことに寄り添う

障害のある人が「つくる」現場で、どのようなことが起きているのでしょうか。福祉施設や自宅など現場にて寄り添ってきた支援者や家族、多くの創作現場を調査してきた学芸員を迎えてのトークセッションです。

登壇者

- ・今泉 岳大  
(岡崎市美術博物館 学芸員)
- ・高橋 梨佳  
(特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)
- ・水上 明彦  
(社会福祉法人さふらん生活園 施設長)

14:00-14:50

セッション2

「みる」ことを考え直す

近年、目の見えない人と美術鑑賞を結ぼうとする試みが増えています。このことに長く取り組んできた実践者を迎え、障害のある人が美術作品を「みる」ことをテーマに、議論を交わします。

登壇者

- ・広瀬 浩二郎  
(国立民族学博物館 准教授)
- ・山田 創  
(滋賀県立美術館 学芸員)

15:00-15:50

セッション3

「ささえる」ために何が出来る？

どこに行ったら創作活動に参加できる？ 作った作品を販売するには？ などなど、障害のある人の文化的な営みを「ささえる」ためにはどうすればよいか。作品の販売や、法律の整備などをテーマに話し合います。

登壇者

- ・奥山 理子  
(Social Work/Art Conferenceディレクター)
- ・原田 啓之  
(障害福祉サービス事業所PICFA施設長)
- ・森 真理子  
(厚生労働省 障害者文化芸術計画推進官)

16:00-16:45

ディスカッション

登壇者全員によるディスカッションを行います。

進行

- ・保坂 健二郎 (滋賀県立美術館ディレクター)

アートと障害を考えるネットワークについて

「アートと障害を考えるネットワーク」では、障害のある人による美術表現を軸に、多様な表現や鑑賞のあり方の可能性を考え、ひいては共生社会の実現にも資する情報提供を行っています。

ご利用案内・アクセス

- ・公共交通機関をご利用の場合：JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田駅」(京都駅から普通電車で約17分)下車、「大学病院」「滋賀医大」行きのバスに乗車(約10分)、「県立図書館・美術館前」または「文化ゾーン前」下車(便によって停まるバス停が異なります)、美術館までは徒歩5分
- ・お車をご利用の場合：新名神高速「草津田上インター」から約5分
  - \*なるべく公共交通機関をご利用ください。
  - \*お身体の不自由な方は、びわこ文化公園東駐車場の有人ゲートからお車を乗り入れて、美術館までお越しいただけます。
  - \*ご参加にあたり、サポートが必要な方は事前にお問い合わせください。

